

令和7年度 第1回学校関係者評価委員会 議事録

2025.08.25 書記：古川

<出席者>

[外部委員]

古川 雅英 新潟県菓子工業組合 専務理事
山岸 貴 中央会計税理士法人 社員 会長 税理士
川上 啓介 株式会社シュルプリーズ ルーテシア 代表取締役
神子島 真 株式会社神子島製作所 専務取締役
伊藤 佑二 御料理 京相模

[学校委員]

[事務局]

渡辺 忠雄 (理事長) 堀 慶
渡辺 弘子 (学園長)
出塚 彩 (校長)
阿部 正一 (教頭)
渡辺 真理子 (事業推進部長)

●開会挨拶

●副委員長挨拶

●令和6年度活動報告

授業アンケート・学生アンケートを学科別に集計した
授業アンケート
キープ

学生アンケート

「授業や行事に意欲的に参加したか」 92%以上
学生が参加したくなる予定を組んできた結果だと思う

「実習・演習について満足度」 95%以上
多岐にわたる授業を体験することで成長を感じ、満足しているのではないかと

「講義・座学についての満足度」 93%以上
勉強の得意不得意がある中で高い数字

「食育活動の満足度」
米作りは調理科2年生が中心となって活動。達成感を味わう

「授業の目的を理解して授業を受けたか」 製菓は100%
「授業を受けて力がついたと実感したか」 製菓で7月90%→3月96%グッと向上
1年という授業を通して出来なかったことが出来るようになったと実感できた結果

●令和7年度重点目標について

- ①「職業実践専門課程」の認定を受けたことで「職業実践専門課程就学支援」を受けることができる。返済がない給付金もあり、学生にとっては助けになっている
- ②広報の取り組みについては頑張っている。
- ③人材育成の一環として企業型説明会を設け、就職への理解を深めている。
会社の説明をしながら実習のデモンストレーションを見せてくださるので 学生も進路への意識が上がる上に、実習としての学びも得られる。
- ④組織の体制として、職員が生き生き働ける環境が作られているのでは
- ⑤地域貢献のため、献血システムに協力している。
また市から道具を借りて地域のゴミ拾いを行ったこともあった。

●職員自己評価結果

職員の自己評価を今年の8月に行い、集計結果と課題について話す。

(1) 教育理念・目標

課題：専門分野教職員の人材不足。専任職員がいない教科が弱くならないよう、補充できたらと思う。

(2) 学校運営

課題：組織として意思疎通が取れていない場面もある、チャット活用を進めてほしい

→改善方策：全体を見渡せる余裕が増えればお互いのフォローができてスムーズな仕事につながる

(3) 教育活動

(4) 学修成果

退学率の低減が図られているかについては、年々増えている通信制高校出身の学生や、過去に不登校を経験している子が、なかなか学校に来られるようにならない現状がある。

課題：若者のインターネット・SNS問題について適切な指導をしているか

→改善方策：例年は何年かに1回、警察からの指導を行ってきたので、毎年開催したい

(5) 学生支援

学生向けカウンセリング教室を開設した。いつでも相談できるという安心感につながるのではないかと思います

課題：職員のオープンキャンパスでの対応力や意識を高めていけたら良い
→改善方策：オープンキャンパス用のチャットを作り情報共有を計った。

(6) 教育環境

今年はコロナ禍明けに初めて海外研修旅行へ行く。旅費もコロナ禍前より1.5倍の金額になるが、学生が任意で参加希望を出した。

課題：防災対策で、棚やロッカーの転倒の恐れがあるものもある
→改善方策：転倒防止対策は必要だと思われる

(10) 社会貢献・地域貢献

夏休み中に地域の方向けの講習会を開催する際、ボランティアを学生に募ると自主的に参加してくれた。

●質疑応答

(山岸委員)

授業アンケートでは「どれくらい勉強をしているか」という質問があるが、どう捉えるか先生によっては増えるのがいいのかどうか認識が違う可能性もある

(堀)

学習習慣を身に付けてほしいという意図はある
普段からの前向きな姿勢が勉強にも反映されたら良いと思う

(山岸委員)

最近の良い子が集まっていて、接していると真面目で良い返事が返ってくる
しかし不満を漏らすことなく去っていく
自己評価→退学率は好ましくない 生徒の質や性格に注意を払うべきことがあるのかもしれない
カウンセラーを置いても、性格をあまり出さない、そもそも相談しないのでは

(伊藤委員)

先生方どうして授業について踏み込まないのは改善できたらと思う
外来講師にも教えてもらいたい

(神子島委員)

なんでそうなっているのか検証した方が良い
生成AIを活用している会社が急増している中で、講習を受けるのはいいかもしれない
議事録もクロードAIで起こすことが出来る
広報活動としては、イベント運営費用として3割を広報にかけるのが一般的(DMを送るなど)
予算をしっかり作る必要があるのでは

●閉会の言葉 (阿部)